マウスとキーボード

TORU AOYAMA

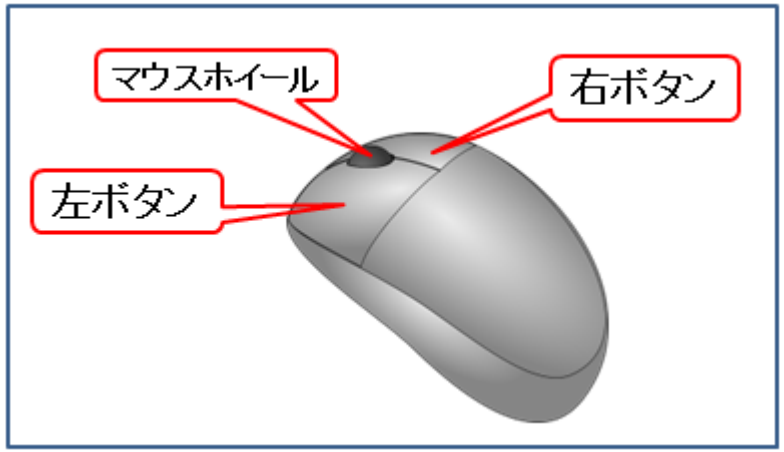
マウスの形状と 3つ（5つ）のボタン

マウス と ボタン

左ボタン　最もよく使うボタンです。単にクリックと言うとこのボタンのことです

右ボタン　右クリックのときに使うボタンです

マウスホイール　ホームページなどをスクロール（ページを上下に移動する）する時に使います



マウスポインタ

マウスがパソコンに接続されていると画面上には、
左図のような **ポインタ** が表示されます

ポインタの形は、ポインタの場所により変化します

①「矢印」の形は、マウスポインタの基本形（通常、表示される形）

②「手」の形は、クリックできる場所に移動する表示される

③「I」の形は、文字入力ができる場所に移動すると表示される

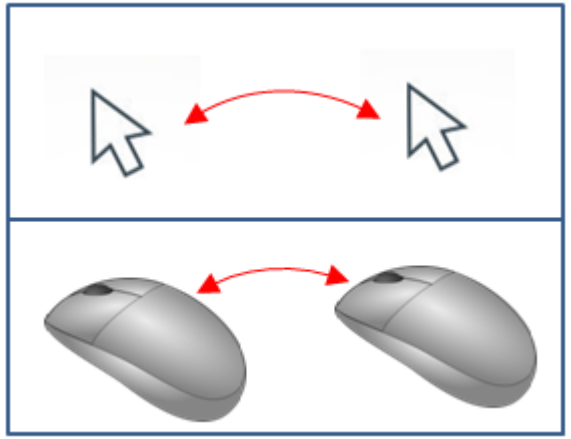
ポインタの移動

ポインタの移動

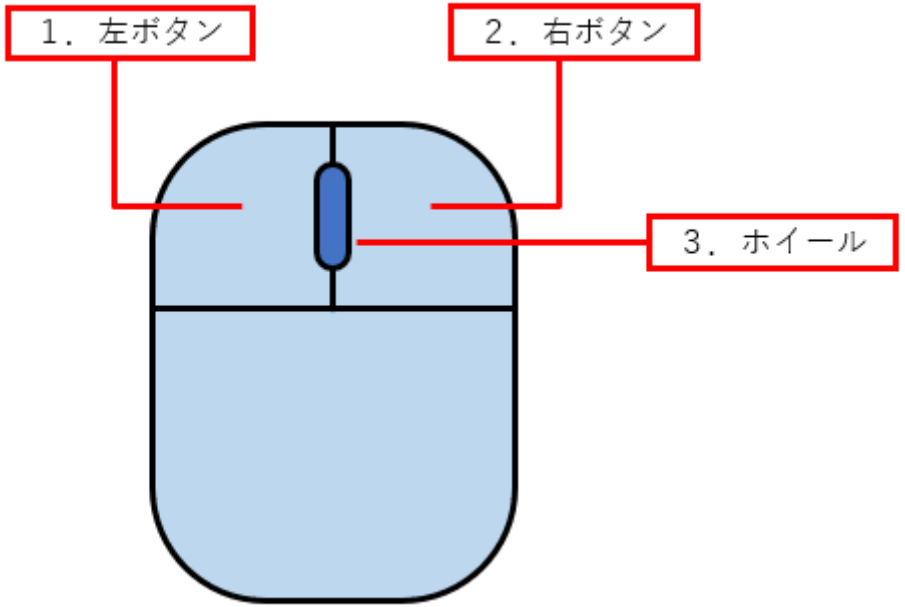
マウスの本体を移動させると、ポインタも移動します。

ポインタを目的のアイコンなどに合わせます。

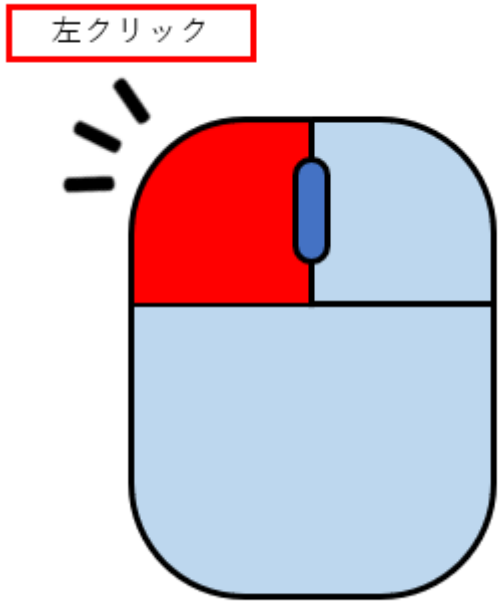
マウスを移動させて机の端になった場合は、マウスを持ち上げて使いやすい所で使います。



マウスの各部の名前と役割



マウスの各部の名前と役割

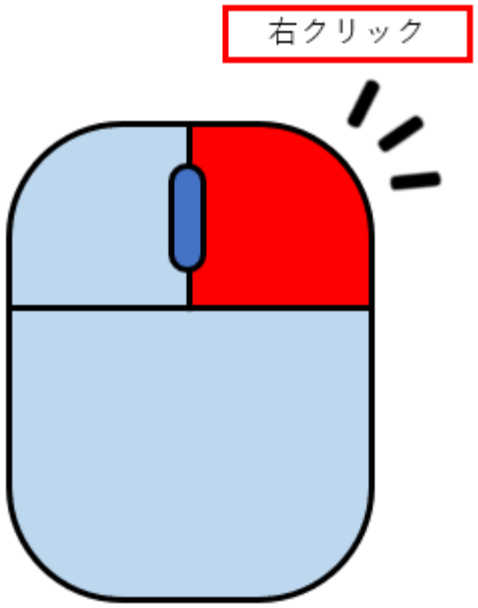


左クリック

左ボタンを 1回押すことを、左クリック（あるいは単にクリック）といいます

クリックは、画面内にある何かを選択したり、アイコンなどを押したりするときに使います。

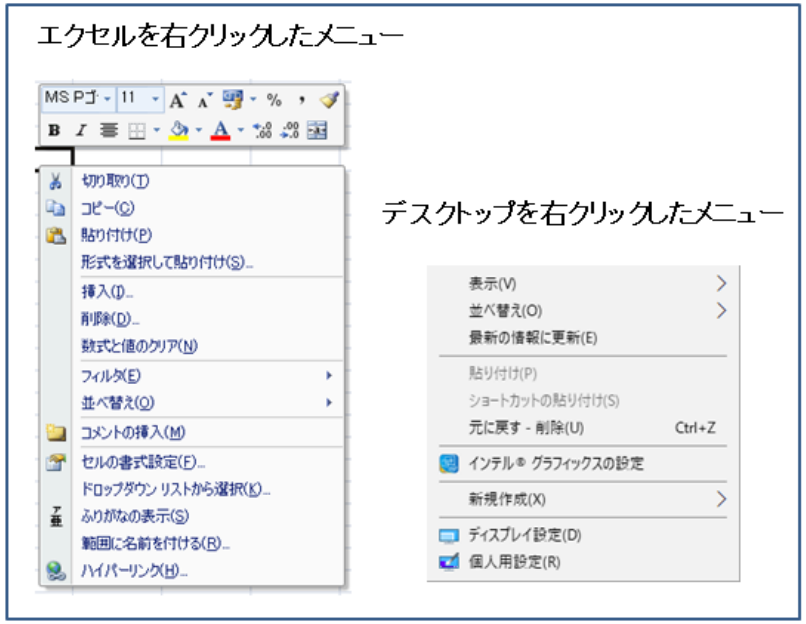
マウスの各部の名前と役割



右クリック

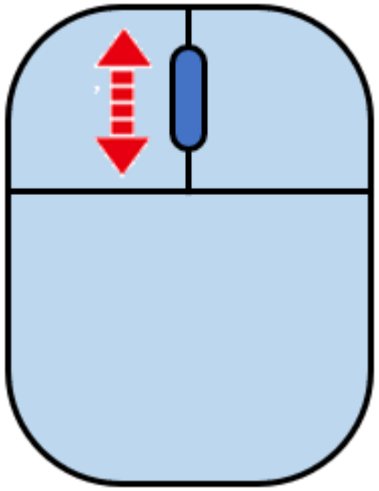
右ボタンを 1回押すことを、右クリックといいます。

右クリックは、主に操作をする「メニュー」を表示するときに使います。



右クリックで表示されるメニューの内容は、マウスポインタの位置により異なります
マウスポインタの位置で、有効な（選択可能な）メニューが表示されます

マウスの各部の名前と役割

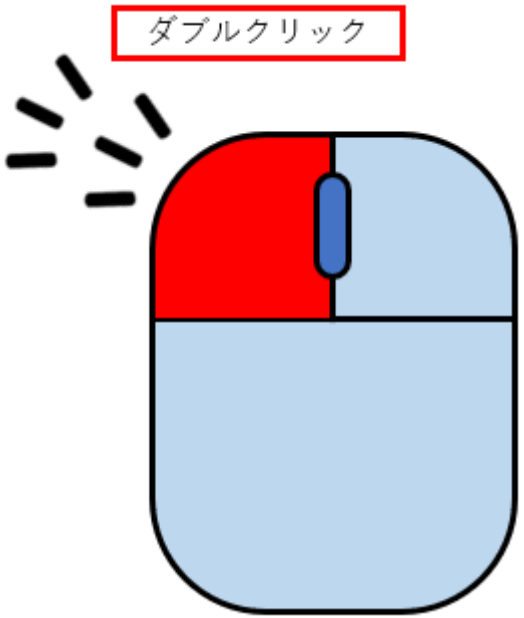


ホイールボタン

ホイールボタンは、上下に回します

ホイールを上下にくるくる回すことで、ページの画面を上下に「スクロール」することができます

マウスの各部の名前と役割

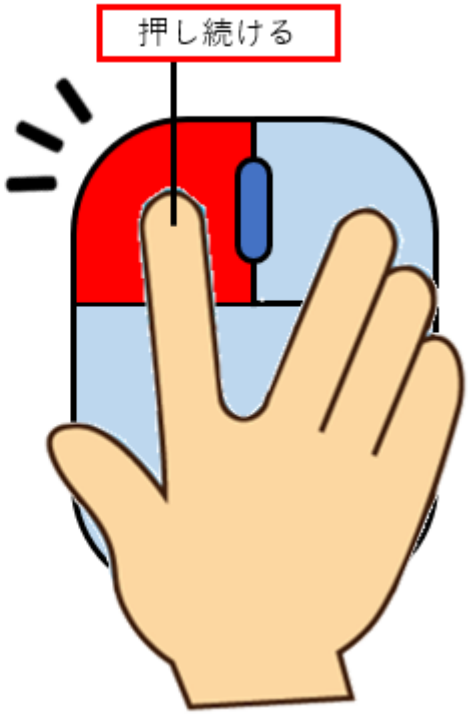


ダブルクリック

左ボタンを 2回続けて押すことを「ダブルクリック」といいます

デスクトップにあるアイコンは、ダブルクリックすると、そのアプリが起動します

ドラッグ＆ドロップ



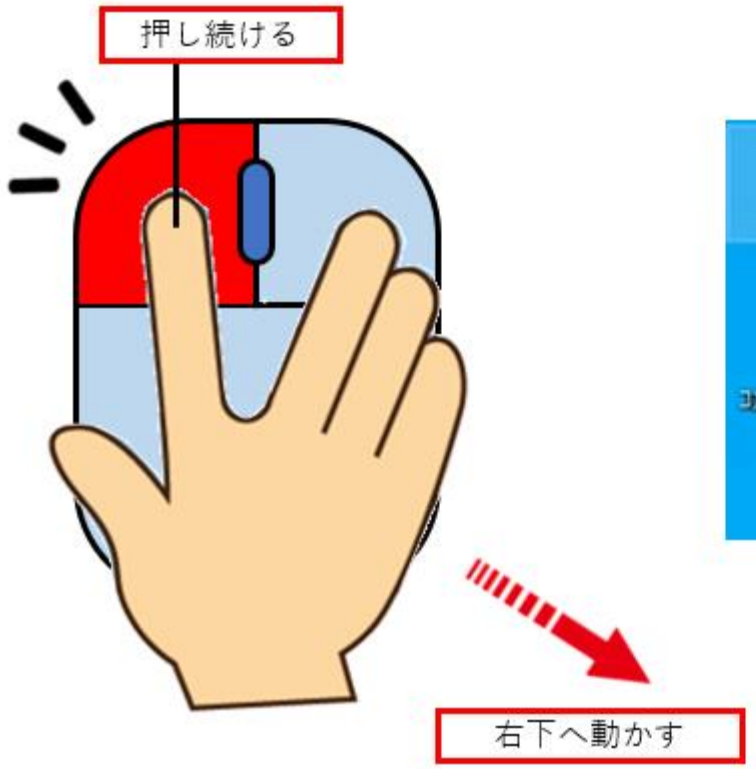
ドラッグ

アイコンなどを移動することを、「ドラッグ」といいます

ここでは例として、デスクトップの「ごみ箱」をドラッグする方法を説明します

マウスのポインターを「ごみ箱」のアイコンに重ねた状態で、マウスの「左ボタン」を押したままにします

ドラッグ＆ドロップ



ドロップ

移動したい位置まで来たら、マウスの「左ボタン」を放します

マウスの左ボタンを放した位置まで、「ごみ箱」を移動することができます

キーボード

キーボードとは、キーを押して文字を入力する装置です
文字を入力する以外に、いろいろな役割のキーがあります

今日は、以下のことを学びます

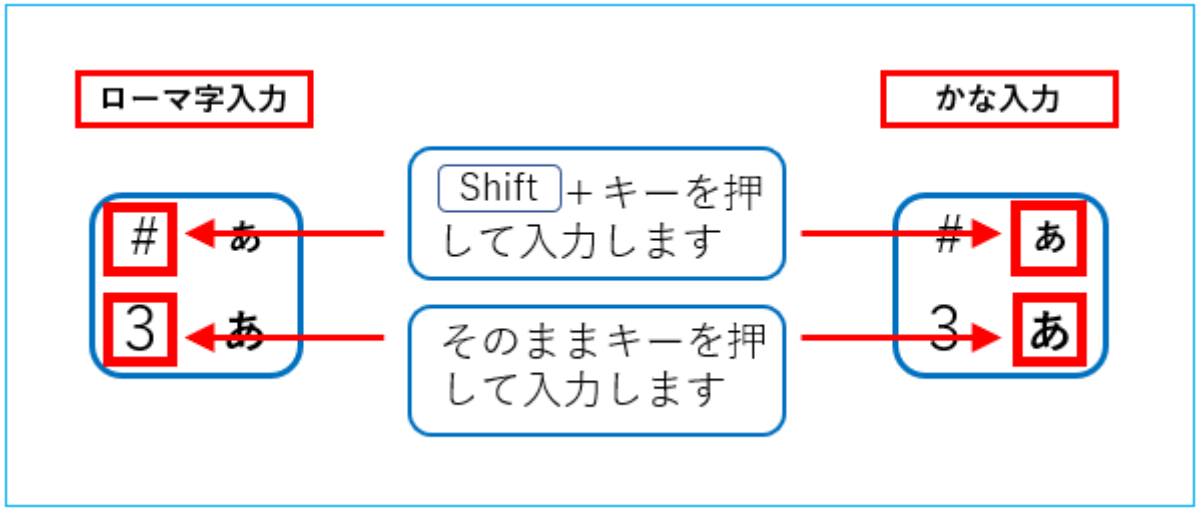
1. **半角文字（アルファベット）**[AAA aaa] **と、全角文字（漢字）**[**あああ**] **の切り替え**
2. Ctrl ＋ C（**コピー**：Copy）
3. Ctrl ＋ V（**ペースト**：Paste）
4. Ctrl ＋ X（**切り取り**：Cut）
5. Ctrl ＋ Z（**アンドゥ**：Undo）
6. Ctrl ＋ Y（**リドゥ**：Redo）

キーボードの操作方法

キーボードの「キー」には、1つのキーに　いくつもの文字　が書いてあります
これは、他のキーと一緒に使って、1つのキーを使い分けます

キーボードの「キー」の見方

- **キーボードのキーには、最大 4つの文字や記号が書いてあります**
- **キーの左側の文字は「ローマ字入力」の時、キーの右側の文字は「かな入力」の時に入力できる文字になります**



キーボードの操作方法（日本語入力）

日本語の入力方式には、「ローマ字入力」と「かな入力」があります

ローマ字入力は、キーボードからローマ字を入力して　**日本語に変換**　します。

例えば、「英語」と入力したい時には、キーボードからローマ字で「eigo」と入力して「英語」という文字に変換します

かな入力は、キーボードのひらがなのキーで「えいご」と入力して「英語」という文字に変換します

「ローマ字入力」と「かな入力」のどちらを使うのかは、どちらでも OK です。

ただし、ローマ字入力には以下の特徴がありますので、通常は、「ローマ字入力」を使います。

- ローマ字入力の方が一般的
- キーボードのキー位置を覚える数が少ない
- PC の最初の設定が、ローマ字入力になっている

[半角/全角] キーで切り替える

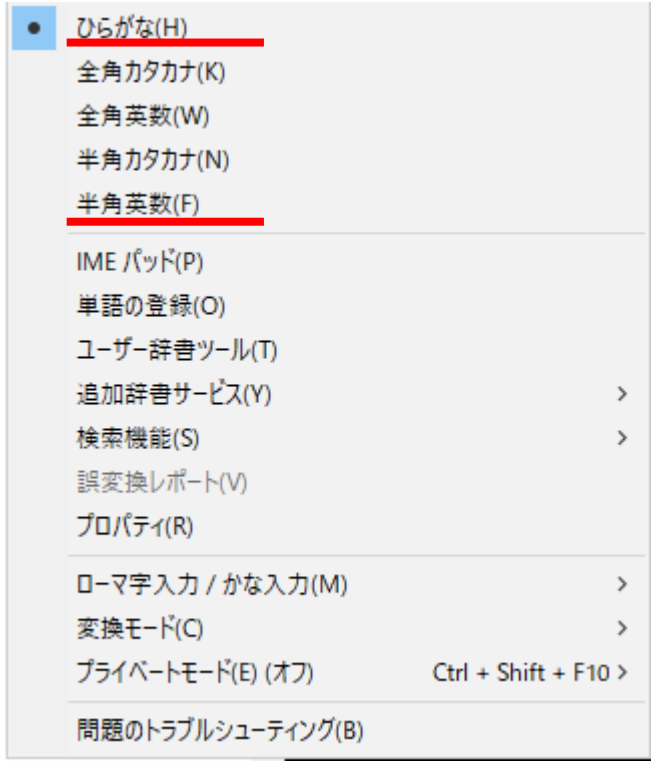
日本語入力と英数入力の切り替えは、キーボードにある [半角/全角] キー で行います
現在の状態が「日本語」入力の場合は、通知領域にある言語表示が「あ」になります

[半角/全角] キーは、右上の“1”の左横

さらに、[半角/全角] キーを押すと、「英数」入力になり通知領域の表示が「A」になります

（困った時）マウスの右クリックで切り替える

マウスのポインタで、通知領域の「A」や「あ」の上を右クリックすると、下図のようなメニューが出てきます
「ひらがな」のときは「ひらがな」、「アルファベット」のときは「半角英数」を選択



Ctrl ＋ C（**コピー** ： Copy）

範囲指定や選択している、文字列やアイコン、ファイルなどをコピーします。
後述する、Ctrl ＋ V **と組み合わせて使用します。**

1. WORD **を起動し、文字列を入力します**
2. AAA aaa **あああ ぁぁぁ と入力します**
   ⇒ **アルファベット/漢字　切り替え**
   大文字、小文字　切り替え
   あああ いいい うううの入力方法　　が学べます
3. AAA **aaa あああ ぁぁぁ　と範囲指定します**
4. Ctrl ＋ C　**とキーボードを押します**
   ⇒　**範囲指定していた「**aaa **あああ」が** PC **にコピー（記憶）されます**

Ctrl ＋ V（**ペースト**：Paste）

Ctrl ＋ C **などにより、PC にコピー（記憶）されている、文字列や絵、ファイルなどを カーソルのある場所に貼り付けます**

1. **範囲指定を解除（マウスでクリックする、キーボードの矢印キーを押すなど）し、**
   Ctrl ＋ V **を押す**
   ⇒ **コピーされている「**aaa **あああ」がカーソル位置に貼り付けられる**
2. **カーソル位置を変えて** Ctrl ＋ V **を押すと、同じ文字列が、カーソル位置に 貼り付けられる**
   ⇒ **コピーされている文字列は、再度、**Ctrl ＋ C **などで、コピーされない限り 記憶され続ける**
3. **エクスプローラで、ファイルでも、同じことを試してみる**

Ctrl ＋ X（**切り取り**：Cut）

機能は、Ctrl ＋ C **と同じ**
違いは、元の位置にあった文字列や絵、ファイルがなくなること

1. AAA aaa **あああ ぁぁぁ と入力します**
   ⇒ **アルファベット/漢字　切り替え**
   大文字、小文字　切り替え
   あああ いいい うううの入力方法　　が学べます
2. AAA **aaa あああ ぁぁぁ　と範囲指定します**
3. Ctrl ＋ X　**とキーボードを押します**
   ⇒　**範囲指定していた「**aaa **あああ」が** PC **にコピー（記憶）され、**
   「aaa **あああ」が画面上から消える**
4. **カーソルを移動し、**Ctrl ＋ V **を押す**
   ⇒　**カーソル位置に「**aaa **あああ」が貼り付けられる**

Ctrl ＋ Z（アンドゥ：Undo）

Undo とは、更新したものを取り消します
Ctrl ＋ Z を押すことで、直前に行った操作を取り消すことができます

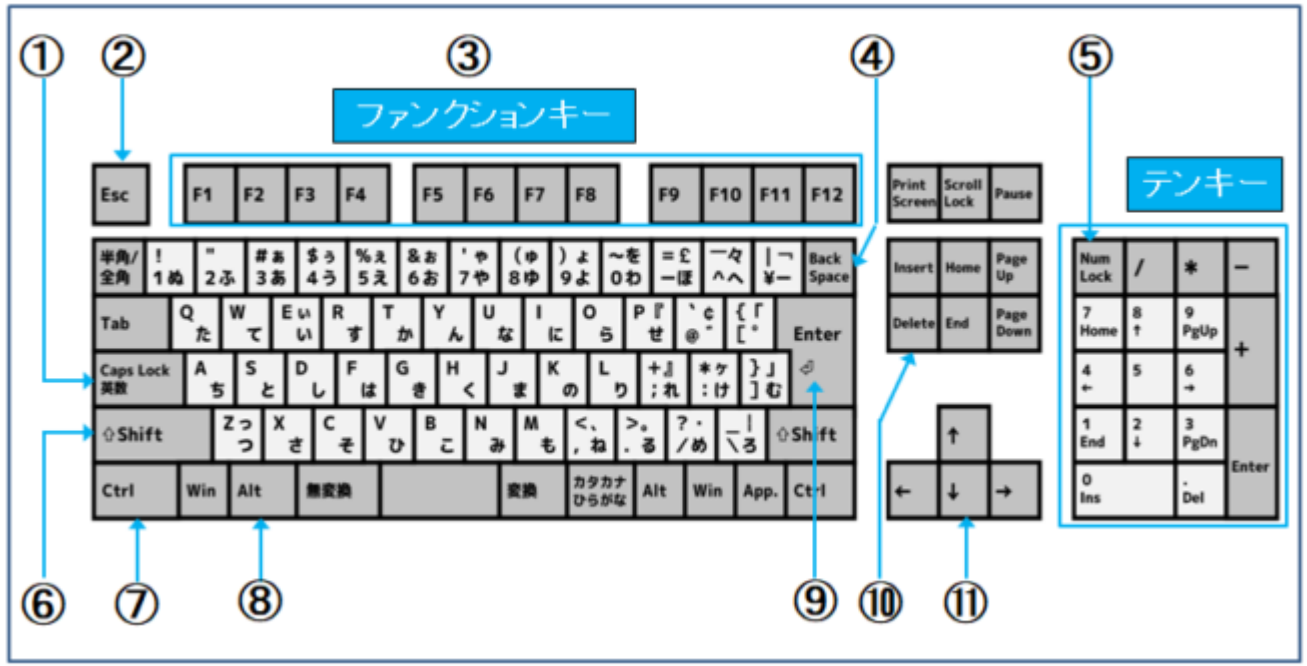
1. AAA aaa ああああ ぁぁぁぁ と入力します
2. AAA aaa ああああ ぁぁぁぁ と範囲指定します
3. Delete キーを押す
   ⇒ 範囲指定していた「aaa ああああ」が画面上から消える
4. Ctrl ＋ Z を押す
   ⇒「aaa ああああ」が復活する：直前の文字列削除操作を取り消す

Ctrl + Y（リドゥ：Redo）

Redo とは、以前の更新をもう一度行います
簡単に言い換えれば、Undo の取り消し

1. AAA aaa ああああ ぁぁぁぁ と入力します
2. AAA aaa ああああ ぁぁぁぁ と範囲指定します
3. Delete キーを押す
   ⇒ 範囲指定していた「aaa ああああ」が画面上から消える
4. Ctrl + Z を押す
   ⇒「aaa ああああ」が復活する：直前の文字列削除操作を取り消す
5. Ctrl + Y を押す
   ⇒「aaa ああああ」が画面上から消える
6. Ctrl + Z と Ctrl + Y は、過去にどんどん遡ることができる

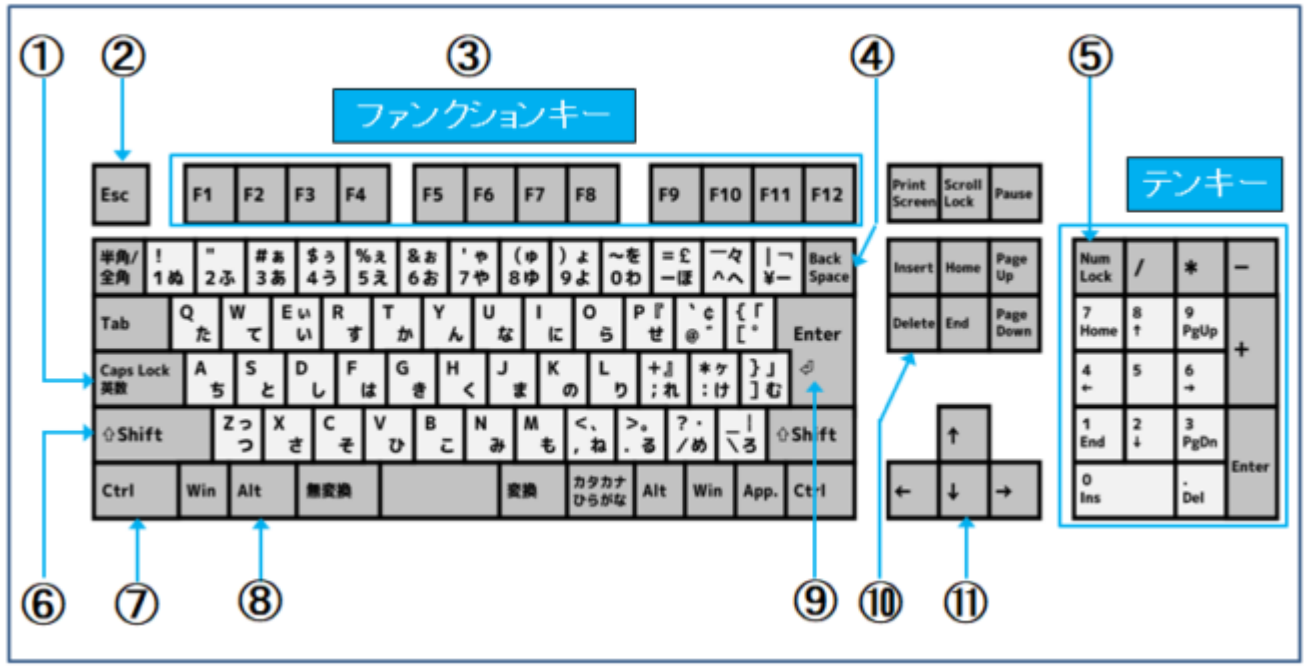
キーボードの主な「キー」の役割



④ Back Space（**バックスペース**）**キー**　**【使用頻度：大】**

Back Space（**バックスペース**）**キーは、カーソルの左側の文字を消します**

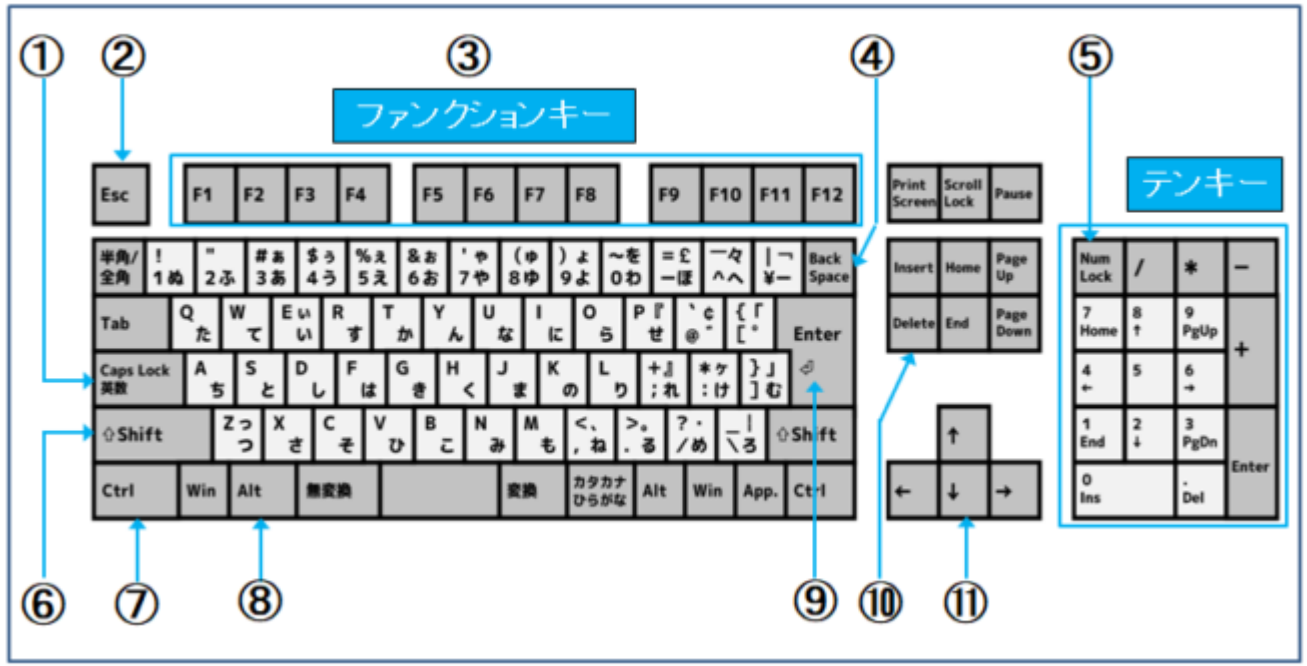
キーボードの主な「キー」の役割



⑩ Delete（**デリート**）**キー　【使用頻度：大】**

Delete（**デリート**）**キーは、入力した文字などで、カーソルの右側にある文字を消します**

キーボードの主な「キー」の役割

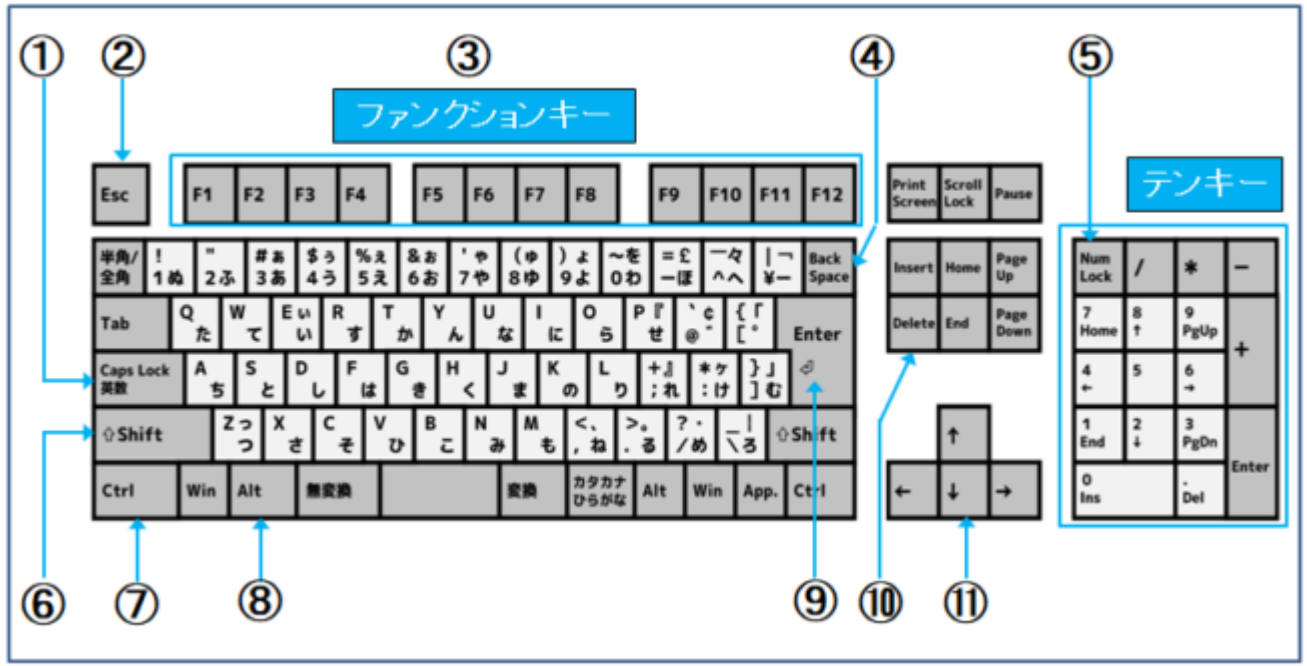


⑦ Ctrl（**コントロール**）**キー　【使用頻度：大】**

Ctrl（**コントロール**）**キーは、他のキーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます**
例えば、「Ctrl+C」（Ctrl **キーを押しながら** C **のキーを押す**）

- 「Ctrl+C」… **選択した文字をコピーする**
- 「Ctrl+V」… **コピーしたものを貼り付ける**

キーボードの主な「キー」の役割



⑥ Shift（シフト）キー　【使用頻度：大】

Shift（シフト）キーを押しながら、文字キーを押すとアルファベットの大文字を入力することができます